



県内経済の動き

概 況

〔2026年4月～2026年6月の動き〕

一部に弱めの動きがみられるも緩やかな回復が続く

鉱工業生産指数（4月）は3カ月ぶりに前月比上昇、通関輸出額（5月 細島港）は3カ月連続で前年同月比増加した。小売店販売額（5月）は5カ月連続で前年同月比増加、「軽」を含む乗用車の販売台数（6月）は3カ月連続で前年同月比増加した。新設住宅着工戸数（5月）は2カ月連続で前年同月比増加し、公共工事（6月 保証対象請負総額）は2カ月連続で前年同月比減少した。有効求人倍率（5月）は前月比▲0.01ポイントの1.17倍で、6月の企業倒産は前月比5件増の9件、負債総額は同41百万円増の10億62百万円となった。

県内景気は緩やかな回復が続いている。先行きについては、中東情勢や物価高、人手不足等の影響を引き続き注視していく必要がある。